認知症初期集中支援チーム検討部会 議事要約

日時：令和5年2月17日（金） 午後2時～午後3時30分

場所：保健センター1階 会議室

参加：枚方市医師会、東香里病院（チーム員）、枚方市地域包括支援センター、

枚方市保健所保健医療課、健康福祉政策課、健康づくり・介護予防課、

事務局：健康福祉総合相談課

欠席：東香里病院（認知症疾患医療センター）

発 言 者	内 容
事務局司会	<p>それでは定刻となりましたので、令和4年度 認知症初期集中支援チーム検討部会を開催いたします。</p> <p>本日はご多用のなか、本会議にご出席くださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日、司会進行を担当させていただきます 健康福祉総合相談課畠中です。よろしくお願いいたします。</p> <p>案件1「オレンジ初期集中支援チーム発動状況・活動報告」では、今年度に発動したケースの紹介と報告をさせていただきます。</p> <p>案件2「オレンジ初期集中支援チーム意見交換会」報告では、チーム医療機関、枚方市認知症施策推進チームとの意見交換会での話し合いの内容等を報告いたします。</p> <p>案件3「令和4年度枚方市医師会協同研修」報告では、枚方市医師会、チーム医療機関、認知症施策推進チームと協働で実施した関係機関向け研修の開催状況・アンケート結果等を報告いたします。</p> <p>案件4「認知症施策取組み実績及び次年度の取組み」では、今年度の認知症に関する総合的な施策（取組み）を報告し、次年度の取組み内容や方向性について協議させていただきます。</p> <p>案件5では、「各機関の取組み」の紹介を予定しております。</p> <p>次に本日の出席者を自己紹介をお願いいたします。では、順にお願いいたします。（紹介）</p> <p>それでは、開催に先立ちまして、事務局健康総合相談課長代理平原より挨拶をさせていただきます。</p>
事務局 課長代理	<p>認知症初期集中支援チームは、新オレンジプランの「認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供」と「認知症の人の介護者への支援の柱」に位置づけられております。この度の検討部会では、チームの活動状況報告や発動ケース等から現状把握や課題抽出し、事業の評価を行います。また、必要に応じて評価結果を次年度の事業に反映し、必要な支援や連携体制構築に取り組む目的で開催しております。</p> <p>認知症の方やご家族の方が、その人らしく地域での暮らしが継続できるよう、認知症初期段階における包括的・集中的支援、早期対応に向けた支援体制構築推進につながる機会として考えております。本日は、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局司会	<p>では、案件1「オレンジ初期集中支援チーム発動状況・活動報告」についてご説明いたします。資料①支援状況一覧をご覧ください。</p> <p>今年度の発動ケースについて、チーム依頼の目的や訪問時の本人・家族の状況、チーム員</p>

	<p>会議で検討した上での支援内容と経過等の報告をチーム員よりお願いします。チーム介入の中で改善点などの提案なども併せてお伝えください。</p>
チーム員	<p>発動事例について資料①に沿って説明。</p> <p>資料①の発動事例1は、チーム員の定期訪問等により、訪問看護につながったケースです。発動事例2は、本人が保健所にも複数回電話、支援を求めているケースと伺っています。この時期、立て続けに3ケース発動依頼があったものの、事前資料をさらに読み込んだうえで、目標設定ができればより良かったと思います。発動事例3は、本人は介入を拒否、家族にとってもニーズが乏しい様子で、本当に介入が難しいケースでした。発動事例4は、地域包括支援センターが信頼関係を築いており、受診や生活支援にスムーズに結びつくことができたケースでした。発動事例5・6は、現在支援中のケースで、チーム員の訪問や家族面談でアセスメントし、本人・家族支援の方向性を探っているケースです。</p>
事務局司会	<p>本年度に発動したケースのご紹介とチーム活動報告を行いました。</p> <p>枚方市では、各地域包括支援センター（以下、包括と記載。）の活動により、通常の認知症支援体制は構築されています。そのため、今年度の発動事例には、複合課題を抱えるような困難ケースのファーストタッチという特色が伺えました。</p> <p>当課としては、チーム員の専門性に基づいた支援のほか、カンファレンスにおけるチーム医の助言が有意義であり、次の支援展開につながっていると考えています。</p> <p>それでは、チーム活動報告について、ご質問やご意見等があればお願いします。</p>
地域包括支援センター	<p>支援チームに依頼することにより、包括のみで抱えるのではなく、他機関やチームドクターの視点を含めアセスメントし、支援方法を検討できることが大変良かったと考えています。</p> <p>また、発動事例3について、保健所と地域包括支援センター間で、どこかのタイミングで、情報提供ができていればよいと感じました。包括は常時様々な情報が集まるので、情報共有など連携を図ることで、かかわる各機関での対応に活かすことができるように思います。</p>
保健所	<p>保健所には、医療相談や心の相談等、各種相談窓口があります。グループにより担当が異なることもあり、関係機関との情報共有、連携について、より一層進める必要性は感じているところです。今回の会議を、課内での検討の機会につなげていければと思います。</p>
枚方市医師会	<p>発動ケースすべてが、困難ケースばかりでした。年間発動件数としては少ないと思いますが、通常のケースはすでに包括がフォロー中とも捉えられます。独居での認知症は、今後さらに増加していくと予測され、発動ケースは社会の縮図といえますね。</p>
健康福祉政策課	<p>重層的体制整備事業で挙げられた案件で、複合的課題を持つ認知症の世帯のケースがあった際には、情報共有・支援方針検討を行うつなぎ先の1つとして認知症初期集中支援チームが活用できるのではないかと考えます。</p>
健康づくり・介護予防課	<p>経年的にチーム活動・支援実績を積み重ねてきたことで、枚方市での支援チームのカラーが出てきたように感じました。</p> <p>発動件数の計上方法は各市町村で異なり、支援チームによる電話対応から件数計上している市では合計件数も多くなります。枚方市では、包括が初期の電話対応等は既にフォロ</p>

	<p>ーしているため、多職種で支援する必要がある困難ケースが計上されるのが特徴だろうと思います。また、そういったケースは継続的な支援が必要となるため、支援チーム発動終了後のフォローできる機関、訪問看護等につなぐ等の支援が必要になります。</p>
健康福祉 政策課	<p>発動事例の支援内容を振り返ると、支援チーム発動終了後のフォローとして、医療・介護サービスにつなぐだけでなく、民生委員や定期宅配業者、配食サービス業者等、インフォーマルサービスを含む本人の周囲にも目を向けられています。本人の社会参加の機会も考慮され、包括的なチーム支援となっていることがすばらしいと感じました。</p>
地域包括支 援センター	<p>チーム医療機関、枚方市認知症施策推進チームとの意見交換会について報告いたします。</p> <p>チームの支援状況・課題の振り返り、今年度・次年度の活動に関する話し合いを目的に、6月、1月に意見交換会を開催しました。</p> <p>資料②意見交換会議事録をご覧ください。第1回6月開催では、前年度に引き続き、全体的に発動件数が少なく、まずは活動を積み重ねる必要性があることを共有しました。支援状況・課題としては、困難事例対応に苦慮していること、対策としてチーム会議をより有意義なものとする等の意見が挙がりました。また、意見交換の中で、「明確な結果を得られなくても、チーム員が介入することで、異なる視点でアセスメントでき、支援者が新しい気付きを得られるため発動の意義は大きい」と共有しました。そのほか、研修会催等、今年度の活動内容・スケジュール・役割分担を話し合いました。</p> <p>資料②の裏面をご覧ください。第2回1月開催では、枚方市医師会共同研修の振り返りを行いました。また、今年度の活動内容の振り返り、次年度の活動予定について協議しました。研修の振り返りは案件3で、次年度の活動は案件4で、詳細を報告させていただきます。</p> <p>意見交換会の報告は以上です。</p>
事務局司会	<p>意見交換会報告について、何かご質問やご意見があればお願いします。 (発言なし)</p>
事務局司会	<p>それでは、次に 案件3「令和4年度枚方市医師会協同研修」について報告いたします。</p>
地域包括支 援センター	<p>今年度、医師会、チーム医療機関、枚方市認知症施策推進チームと協働で実施した関係機関向け研修についてご説明いたします。</p> <p>支援チームの発動の流れ、支援の実際の理解を深めていただくことを目的に、各医療機関の強みを紹介し、また、よくある事例をもとに、相談受付から発動の判断、発動依頼、チーム員会議の様子、具体的な動き等をロールプレイ方式で説明しました。ロールプレイ出演等で、医師会の先生方をはじめ、多くの方のご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。当日研修資料の詳細は、お手元の資料③-1 をご確認ください。</p> <p>研修は、令和4年1月に開催し、78名が参加しました。資料③-2 アンケート結果まとめをご覧ください。支援チームについて、4割の方は聞いたことはある、知らないという結果でしたが、今回の研修で、96.9%の方が支援チームを知ることができたと答え、93.8%の方が支援チームを利用したいと回答しています。今後の取組みについては、包括への相談や</p>

	<p>研修等への出席が多く、次いで包括との連携支援、関係機関との連携が続きます。</p> <p>また、啓発活動への協力を回答してくださった方も 29 名おられました。研修が役立つかという問いには、92.2%の方が役立つと回答しています。後日、研修に参加したケアマネジャーより、「このようなことが知りたかった」と感想を多数いただきました。このように、「チーム発動に係る実際の事務・支援を学ぶことで、関係機関が、チームを効果的に活用できるようになり、今後の支援や連携体制構築につなげる」という研修の目的・目標は概ね達成できたと考えます。研修報告は以上です。</p>
事務局司会	研修報告について、何かご質問やご意見があればお願いします。
枚方市医師会	<p>研修に参加した医師は 5 名にとどまりました。そのため、医師会員向けホームページに編集した動画を配信し、さらに周知する予定にしています。</p> <p>また、医師にとって、連携機関としての包括の認知度はまだ低いと感じています。今後の認知症支援体制構築により一層の包括の周知が必要です。次年度は、市内を 2 ブロック程度に分け、包括の紹介を含めた医師向け認知症研修会実施を検討しています。案件 1 の支援チーム発動ケースでも、かかりつけ医がいれば介入もしやすかったのではないかと思います。</p>
保健所	研修の方法として、ロールプレイは大変わかりやすいものだったと思います。入門編として動画配信しても良いのではないのでしょうか。
事務局	<p>アンケート結果においても理解しやすかったとの声を多数いただいております、伝達方法の工夫は大切だと実感しているところです。</p> <p>今回、関係機関向けの周知としてロールプレイを組み立てたため、配信先として、介護支援専門員連絡協議会等、関係団体でご協力を得られないかご相談してみる、といった意見が認知症施策検討チームからも出ています。</p>
チーム員	関係団体ホームページ等での動画配信等、可能かどうか法人に持ち帰り、後日回答します。
事務局司会	それでは、次に、案件 4、「認知症施策取り組み実績及び次年度の取り組み」について報告いたします。
事務局	<p>今年度の認知症に関する総合的な取り組みを報告し、次年度の活動内容や方向性について協議させていただきます。</p> <p>資料④-1 をご覧ください。当市では、認知症施策検討チームを設置しており、この施策検討を軸に、管理者全体会議・社会福祉士・主任ケアマネ・保健師部会、各包括配置の地域支援推進員と協議を重ね、早期発見の仕組みづくりと発見後の支援体制強化を進めているところです。</p> <p>資料にありますように、①認知症初期集中支援チーム事業推進・認知症早期把握・対応啓発活動、②チームオレンジ構築に向けた認知症サポーターステップアップ講座パッケージ化・サポーター支援が、今年度の主な取り組みでした。</p> <p>まずは、①支援チーム事業推進と啓発活動、次年度の取り組みについて協議させていただきます。</p> <p>活動内容としては、先ほどご報告した意見交換会・医師会協同研修のほか、市開催認知</p>

	<p>症サポーター養成講座・令和4年11月チームオレンジサポーター情報交流会開催時に、認知症初期集中支援チーム案内ちらしを配付・案内し、周知を図りました。そのほか、世界アルツハイマーの機会に、医師会と協同で啓発イベントを実施、京阪電鉄枚方市駅にて、市キャラクターひこぼしくんと共に啓発ちらし・オレンジティッシュを配布し、普及啓発活動を行いました。また、市主催事業をして、令和5年1月21日、枚方T-SITEにて、絵本作家による認知症講演会を開催し、令和5年1月23日～1月30日には、市内小学校向けに「認知症フレンドリーキッズ授業」を試行的に実施し、認知症理解促進・普及啓発を図っております。</p> <p>次年度の取り組みとして、チーム事業について、引き続き外部機関への周知を図る必要があると考えております。チーム活動を周知する媒体（チラシ、PR動画等）を作成、センター主催介護保険事業所連絡会等で配信、紹介したり、複数年かけてチーム員が事業所連絡会等に出向き、活動周知と共に関係機関と顔の見える関係につなげていくことを検討しています。また、世界アルツハイマー月間のイベント開催等、他機関と協同で認知症早期把握早期対応を目的に啓発活動も検討していきます。</p> <p>次年度の取り組みについて、何かご質問やご意見があればお願いいたします。</p>
枚方市医師会	<p>アルツハイマー月間のイベント開催等、次年度も連携し、実施できればよいと考えています。</p> <p>その他、次年度の医師会の取組みとして、コンソーシアム連携事業において市民向け講演会の開催を考えており、認知症啓発の取組み等について周知予定です。</p>
事務局	<p>ご意見・ご質問ありがとうございました。この度の協議をもとに、次年度の認知症施策の方向性、取組み内容を決定します。ご理解とご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。</p> <p>続きまして、初期集中支援チームの取組み以外の活動についても、ご報告いたします。</p> <p>資料④-1 をご覧ください。今年度は、6月にオレンジカフェ情報交流会を開催、活動状況や活動内容の情報共有を行い、認知症カフェ同士の繋がりを持つ機会としました。</p> <p>11月にはチームオレンジサポーター情報交流会を開催、枚方市社会福祉協議会よりボランティアについての講義、活動先のイメージ共有のために認知症カフェから活動内容の紹介、グループワークを行いました。また、3月には、今後の各包括圏域開催を視野にパッケージ化したサポーターステップアップ講座を試行的に開催予定です。</p> <p>今年度の認知症施策の主な活動報告は以上となりますが、新オレンジプランの7つの柱基づくり、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ登録事業・設立支援事業等も前年度の引き続き取組んでおりますので、資料④-2 枚方市における認知症施策一覧表をご確認ください。</p>
事務局司会	<p>支援チーム以外の認知症施策に関する取組みについて、何かご質問やご意見があればお願いいたします。</p>
枚方市医師会	<p>認知症サポーター養成講座の受講者は多く、盛況のようですね。</p>
地域包括支援センター	<p>認知症サポーター養成講座は、自分自身のため、親のため等、さまざまな層の方が参加しており、興味関心が高いようです。</p>

	<p>オレンジカフェは身近な地域にあるので、当事者が近隣の方に知られることを避けるようなケースもあるのかもしれませんが。ただ、気軽に訪れることができる場所に、オレンジカフェという相談の場があることは大切だと思います。認知症に限らず、疾患で区分することなく、いろいろな方々の拠り所になれるような場を目指るといいですね。</p>
健康づくり・介護予防課	<p>オレンジカフェは徐々に増えており、現在 15 か所設置されています。コロナ禍のためになかなか行動できない状況が続きましたが、オレンジカフェのなかには、行事イベント開催等、来所のきっかけになるような企画も検討されています。他市ではオレンジカフェでのネイル体験等を実施しているようで、カフェ交流会の機会などに情報提供したり、カフェ同士で意見交換する機会を持てるとよいと思います。</p> <p>また、認知症サポーターステップアップ講座受講者がサポーターとなって、地域の認知症の方をオレンジカフェにつなぐ活動も考えています。様々な方が集い、つながりが持てる場となるよう考え、実践していきたいと考えています。</p>
事務局司会	<p>それでは、次に、ご参加いただいている各機関より認知症施策に関わる情報提供をお願いいたします。</p>
健康づくり・介護予防課	<p>今年度は、脳力チェック検診を 2 回開催しました。65 歳以上の方を対象とした全 2 回の認知症予防教室で、第 1 回目は認知症機能テストと認知症予防等の講義を実施し、第 2 回目はテストの結果返却と個別相談を行います。この個別相談では、医師が直接受診を案内するので、受診キャンセルが少ないことが特色です。</p> <p>また、次年度は、60 歳以上者を対象とした認知症予防教室であるところとからだ生き生き教室について、地域（各生涯学習市民センター）での開催ができるよう調整中です。</p>
健康福祉政策課	<p>現在、市ホームページを見直しているところです。認知症に関する情報が点在しているため、「高齢者しつこサイト」に認知症情報を集約し、市民にとって、アクセスしやすいものにしたいと取り組んでいます。</p>
枚方市医師会	<p>認知症支援体制は、相談・検査・診療対応ができる医療機関リストの提示のみで構築できるものではないと捉えています。認知症診断は、診療時間や専門性を要し、片手間できるものではなく、かかりつけ医と専門医療機関とで、役割や機能の整理、連携が大切です。次年度も引き続き、かかりつけ医を含めた関係機関への研修を開催したいと考えています。</p>
事務局司会	<p>今後も、各機関での新たな取り組み等がありましたら、情報提供をよろしくお願いいたします。</p> <p>では、これもちまして、令和 4 年度 認知症初期集中支援チーム検討部会を終了いたします。なお、本部会の内容については、令和 5 年 3 月開催の地域ケア推進実務者連絡協議会において、事務局より報告をさせていただきます。</p> <p>本日は、ご多用のところご出席いただき、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。</p>